Corporate
Social
Responsibility
Report

2015

CSR報告書

CREATIVE MIND ——こころをカタチに

MAEDA ROAD

顧客のニーズに応え、人と環境にやさしい

道づくり

発行目的

2007年から「環境報告書」を発行して、前田道路の環境への取り組みに関する情報をお伝えしてまいりました。2013年からはステークホルダーの皆様に対して、当社の事業活動における社会的責任について報告することを目的として、「CSR報告書」を発行しています。

報告対象組織

前田道路株式会社

報告対象期間

2014年4月1日～ 2015年3月31日
当該年度以外の内容も一部に掲載しています。

見通しに関する注意事項

本報告書は、前田道路株式会社の過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や見通しに基づく将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づく仮定ないし判断です。さまざまな要因によって将来の事業活動の結果や事象が予測と異なったものとなる可能性があります。ステークホルダーの皆様には、以上をご了承いただきますようお願い申し上げます。

CONTENTS

● トップメッセージ……4

● 事業紹介
前田道路の事業フィールド ……5

● 特集 女性の活躍……6

● 環境性報告
2014年度　各部門の実績と評価 ……8
環境に配慮した工法・技術 ……10
省資源・資源循環の促進 ……11

● 社会性報告
地域社会とのコミュニケーション …12
従業員とともに ……14
マネジメントシステムの推進 ……15
災害への対応 ……15

● CSRマネジメント
全社基本方針 ……16

● 会社概要 ……18

● 第三者意見 ……19

人と環境を大切にし、社会に役立つ事業活動で貢献します。

● 私たちを取り巻く状況

道路は、人々の生活に深く根差し、文化･産業の発展のために重要な社会基盤です。

1930年（昭和5年）に創業して以来、道路事業をはじめとするさまざまな事業への取り組みを通じて地域社会の発展に貢献してまいりました。

経済のグローバル化が進み、情報コミュニケーションのスピードが高速化する中、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。エネルギー需要の増大や地球温暖化の進行、台風やゲリラ豪雨などに象徴される自然災害の多発や、高齢化社会の進展に伴う医療制度改革の必要性など、さまざまな問題が山積しています。企業は、持続可能な社会の実現に向けた事業活動について、お客様、株主、取引先、地域社会などさまざまなステークホルダーの皆様の観点から、改めて見つめ直す必要があります。

● 道路について

私たちの事業活動は、人と社会をつなぐ重要な社会基盤である“道路”を造り、守るという大切な役割を担っています。大切な生命線である道路を維持することで、いつ起きるかわからない自然災害から人々を守り、安全・安心な環境を提供し、道路という重要なインフラを守る役割をしっかり果たすことが、当社にとって最大の社会的責任であると考えています。

● 環境に対して

地球温暖化をはじめとした環境問題は、企業として対処すべき重要なテーマです。当社は持続可能な地球環境の実現に向けて、低炭素社会へ向けた取り組み「人と環境を大切にした事業活動」を推進するために、「経営の理念」「環境理念」を定めています。

この理念のもと、道路建設という社会性、公共性の高い事業を行う企業として、以下の3項目を事業活動の柱としています。

1. 地球温暖化防止策としてCO_2排出量の削減
2. 循環型社会形成を目指したリサイクル事業の推進
3. 環境配慮型技術の開発

これらを複合的に組み合わせ、CO_2総排出量の削減を図り、環境負荷低減に取り組んでいきます。

● 社会に対して

当社は社員、地域の人々を大切にし、安全・安心に寄与する地域貢献型の企業をめざしています。全国各地に展開する営業所を、災害時には復旧活動の拠点とするとともに、地域の方々の支援施設として運用するため、設備のリニューアルを推進しています。今後も年間10ヵ所程度の整備を継続し、支援拠点を増やしていくことで、地域貢献をかたちにしていきます。

また、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会をつくるために、バイオマス燃料や太陽光発電などの再生可能エネルギーを積極的に使い、そして本業では環境負荷の低いものづくりに取り組んでいきます。

● これからの前田道路

当社が社会に役立つ企業として成長していくためには、多くのステークホルダーの皆様からの期待にしっかり応え、「安全、安心、良い仕事」で、安定した豊かな社会の構築に貢献することが、社会的責任を全うすることと確信しています。

私たちの事業活動の原点は、社会の皆様からの信頼です。これからも地域の人々と環境を大切にし、コンプライアンスの徹底を行い、社会からの信頼を勝ち得るよう努力していきます。

今後も、ステークホルダーの皆様方に当社の社会貢献活動、環境保全活動の取り組みに、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

今枝良三

前田道路の事業フィールド

前田道路は社会資本の整備と地域社会の豊かな生活に貢献するため、80年以上にわたり道路づくりを続けてきました。バリアフリー設計をはじめ、人や車の往来の「安全」を守る。地域に根づいた文化や景観に寄りそう。そして地球環境への負担を軽減する。私たちは事業活動を通して、人間が住む環境の維持・改善に徹底して取り組んでいます。

製造・販売事業 801億円

● アスファルト合材

アスファルト合材の製造は、道路工事とともに事業の大きな柱となる分野です。スムーズに製品を提供できるよう、全国各地に拠点を構えています。

広島合材工場

● 破砕処理

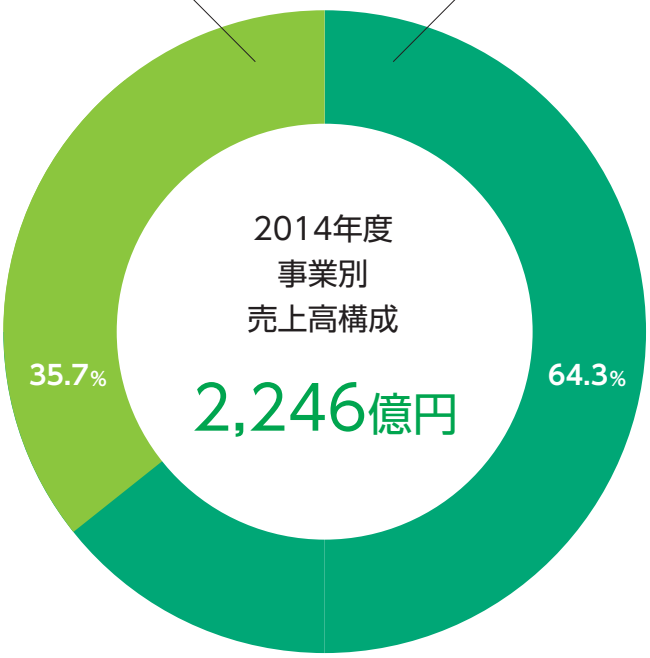
産業廃棄物削減のため、建設現場から排出されるアスファルト塊やコンクリート塊などを受け入れ、材料や燃料として再利用しています。

衣浦合材工場内の破砕施設

● アスファルト乳剤

あらゆるニーズに対応するため、多種多様なアスファルト乳剤を製造・販売しています。

八女乳剤工場



● 段差補正材／常温合材

ご家庭でも手軽にお使いいただける商品も製造・販売しています。

スマートパッチ／マイルドパッチ

工事事業 1,445億円

● 高速道路

環境配慮型の製品・技術も導入、高品質な高速道路で地域と地域をつなぎます。

八戸自動車道
八戸ジャンクション舗装工事（八戸市）

● 道路舗装

主要国道から一般道路、被災道路の復旧にいたるまで、現場のニーズを正確に把握し最適な舗装工事を行います。

新虎通り（東京都）

● スポーツレジャー施設

道路づくりで培った技術を活かし、野球場やテニスコート、バスケットボールコートをはじめとするスポーツ・レジャー施設の建設を行っています。

トヨタ自動車株式会社スポーツセンター
女子ソフトボール場（豊田市）

女性の活躍

男性社会といわれる建設業の中でも、
とりわけその色合いの濃い道路業界にあって、
前田道路ではあらゆる分野で女性社員が活躍し、業務をサポートしています。
年々女性社員も増え、現在、全社員の20%になっています。
男女共同参画社会の実現に向け、女性ならではのしなやかな感性・能力を活かし、
女性が輝くことができるよう、職場づくりを積極的に推進しています。

実家が土木業だから

実家が土木業を営んでおり、小さい頃から父や家族の姿を見て育ったこともあり、「土木＝男の職場」というイメージは全くありませんでした。大学では農業土木を専攻するなかで道路に関心をもち、当社に入社しました。最初の職場は、土浦にある技術研究所で、主に乳剤の研究に関する仕事に携わっていました。

上司、先輩にご支援いただきました

２年目に入ると、本店工務部にて積算の仕事に従事しました。入札に必要な情報を集める仕事なのですが、先輩たちに色々教わりながら、積算について学ぶことができました。

３年目には、色々な現場を経験することも必要だとのことで、上司から東京合材工場での環境分析の仕事を勧めていただきました。

毎日が理科の勉強

環境分析という仕事は、見たこともない道具を使い、また聞いたこともないさまざまな薬品を使用する仕事なので、果たして私に務まるのか心配しました。しかし、これまでも専門の知識がなくてもさまざまな仕事に挑戦させて頂いていたので、その配属を承諾しました。

東京支店　東京合材工場　品質管理課
吉間　希

最初の半年は合材の試験室、その後、当初の目的である分析の仕事に従事しました。最初の頃は、薬剤や化学の知識がない中で薬品を取り扱うため、毎日が理科の勉強でした。分析結果を間違えば、お客様にご迷惑をおかけすることになるので、社内や関係会社の方々からご指導いただいたり、自身でインターネットや専門書を読み、その知識を学びました。

目指すは環境計量士

さまざまな仕事に挑戦させていただける職場なので、今後は環境計量士の資格をとり、また土の分析だけではなく、アスファルトの分析にも挑戦していきたいと思っております。

東京支店　船橋営業所　事務課
角田　美果

育児を考え近くの職場に

娘が小学校にあがるのをきっかけに転職し、現在に至ります。前の職場が東京都大田区の蒲田であったため、通勤時間が長く、学童保育の迎えに間に合わないこともあり、家の近くにある職場を探していたところ、当社の船橋営業所に出会いました。

女性の意見が活きる職場

経理関連の仕事が初めてであったため、入社当時は、人手が少ないなかで期限のある大量の仕事を前に一つ一つこなすのに苦労しておりました。また、女性職員は私だけだったので、男性職員の言葉遣いに戸惑いがありましたが、ここ数年の間に女性職員が増えたこともあり、みんなで意見を出し合うことで、職場の雰囲気だけではなく、男性職員による来客者や電話への対応も改善し、良い職場になったと思います。元々女性の意見を聞いていただける環境だったことが大きいと思います。

ワークライフバランスの向上を目指し

いま、会社では業務の効率化、時短の徹底を図っているので、私自身もっとスキルアップすることで、業務の効率化や改善を図り、ワークライフバランスの向上を目指したいと思います。

西関東支店　製品課
杉本　美穂

東日本大震災がきっかけです

前職はIT企業の内勤で広報とマーケティングを行っておりました。

東日本大震災があった当時、日本橋で仕事をしていた私は、１歳の娘のもとにたどり着くまでにとても時間がかかりました。そのことがきっかけで、自宅近くで働ける仕事を探すことになりました。

そんななか、以前から興味のあった営業職の仕事を未経験でも採用可能との掲示があった当社に派遣社員として採用していただき、その後、正社員にさせていただきました。

人の温かみを感じました

初めての営業ということもあり、試行錯誤しながら営業活動する日々を過ごしておりましたが、２ヶ月目を迎えたある日、ついに、※マイルドパッチ20袋のご注文をいただくことができました。初めての受注でしたので、営業所すべての方が心から褒めてくださったことを今でも覚えております。実力主義の外資系での社会人経験しかない私にとって本当に嬉しい出来事でした。道路に対する知識のない素人の私に技術部長や支店長をはじめとする周りの方々からさまざまな情報を頂き、2年半営業活動を続けております。

寝ても覚めてもマイルドパッチ

現在、神奈川県内の自治体への営業活動を行っております。当初は地元企業ではないこと、大手であることが理由で、なかなか売上が伸びませんでした。その頃はどのように売り込むのか寝ても覚めてもマイルドパッチの販売方法を考える日々でしたが、県内にある各営業所の方々のサポートのおかげで、徐々に自治体とのコミュニケーションが図れるようになりました。

目標は県内制覇

技術部長から教わった知識をもとに情熱を込めての営業活動の末、今では神奈川県内約７割の自治体でマイルドパッチを採用していただいております。１年目の営業では1万2千袋、2年目は2万7千袋を販売しました。前田道路が自社開発した商品をもっと多くの人に使っていただくために、先ずは神奈川県内全ての自治体に採用して頂くことが私の目標です。

※マイルドパッチ
水をかけて、踏み固めるタイプの袋詰め
アスファルト製品

持続可能な地球環境のために

● 環境理念

わたしたちは、『経営の理念』の精神に則り、環境問題を企業の社会的責務の中の重要な課題と認識し、『人と環境にやさしい道づくり』のスローガンのもと、環境への負荷を低減し持続的発展が可能な社会を形成することに貢献すべく、環境への配慮を組み入れた事業活動を展開する。

2014年度　各部門の実績と評価

2014年度における環境行動計画の実績は、下記の通りです。2014年度実績の評価をもとに設定した2015年度目標を達成するために、環境保全活動のさらなる改善を継続的に取り組んでいきます。

● 環境行動計画と目標（2014 年度実績と評価）報告

達成　概ね達成　あまり達成できなかった　達成できなかった

環境目的	対象部門	2014年度 目標	実績	評価	2015年度 目標	関連記事
CO_2排出量の削減	製品部門	バイオマス燃料使用工場 新規3工場	2工場	達成	–	P.10
		ハイブリッド油圧ショベル 新規11台導入	1台	概ね達成	熱効率改善型 ※1燃焼システム 4工場へ設置（累計16工場）	P. 9
		2009年度比1.9%削減 (2009年度実績29.6kg-CO_2/t)	5.4%増加	あまり達成できなかった	前年度比 1.5%削減	P. 9
	オフィス部門 (本支店)	前年度比3.0%削減 (オフィスの使用電力量)	5.8%削減	達成	前年度比 3.0%削減 (オフィスの使用電力量)	P. 9
	工務 製品 総務共通	※2 テレマティクスサービスの導入 9支店	9支店	達成	–	P. 9
リサイクル資材の 有効利用	製品部門	前年度比3.0%増加 (再生品の製造)	10.8%減少	概ね達成	前年度比3.0%増加 (再生品の製造)	P. 9 P.11
オフィス廃棄物の削減	オフィス部門 (本店)	前年度比16.7%削減 (紙類を分別し再利用を推進 可燃ゴミ削減)	8.3%削減	概ね達成	前年度比16.1%削減 (紙類を分別し再利用を推進 可燃ゴミ削減)	
環境に配慮した工法の 提案営業	技術営業部門	提案件数 60件 (環境に配慮した工法)	62件	達成	提案件数 60件 (環境に配慮した工法)	
環境に配慮した工法の 受注確保	技術営業部門	受注率 50% (提案件数比)	25%	概ね達成	受注率 30% (提案件数比)	
環境に配慮した 施工方法	工事部門	情報化施工 施工面積 前年度比6%増加	14.6%	達成	情報化施工 施工面積 前年度比 6%増加	

※1 燃焼システム：アスファルト合材製造時に使用材料を加熱する機械設置
※2 テレマティクスサービス：車両に車載機とGPSアンテナを装着し、通信回線を通じて取得した様々な車両データを、インターネット上で運行管理に有効な情報として提供するサービス

● 環境行動計画の実績と今後の取り組み

当社の事業活動におけるCO_2排出量の約98％はアスファルト合材や再生路盤材等の舗装材製造に起因するものです。そのため、アスファルト合材製造数量の増減がCO_2排出量に大きく影響するため、2014年度はそれまでのCO_2総排出量削減からアスファルト合材製造1t当たりのCO_2排出量削減を目標としました。

しかし、2014年度は2009年度比で5.4％の増加となり目標を達成することができませんでした。使用燃料にバイオマス燃料を使用する工場は全99合材工場の中で14工場であり、エネルギー転換等の取り組みを反映するまでにはいたっていません。そこで、2015年度は前年度対比の目標を設定することで、CO_2排出量削減の取り組みが反映しやすくなりました。

製品部門ではハイブリッド油圧ショベル11台導入を目標にしてきましたが、社会情勢の変化による納車遅延や、CO_2削減の対策対象が重機から工場設備に焦点が移行したことにより、新規導入は1台という結果となりました。次期行動計画からはハイブリッド油圧ショベルの導入は除外し、代わりにアスファルト合材工場における燃焼システムの改善を推進していきます。

テレマティクスサービスの導入は、目標の9支店全て達成することができました。スピード抑制や急加速の減少により、燃費改善が見られ、CO_2削減に貢献しました。

リサイクル資材の有効利用は前年度比3.0％増加を目標としていましたが、10.8％減となりました。これは市場規模の縮小が原因です。今後はサテライトの拠点を増やして廃材受け入れを推進し、再生品の製造量の増加を目指します。

● エネルギー見える化システム「Ecoの森」を導入

本店ビルでは、NECネッツエスアイ社の電力量見える化システム「Ecoの森」を導入しました。

ビル全体の電力量における省エネ達成状況を画面に表示し、電気使用量をリアルタイム（10分間隔）で更新します。時間別、日別、月別等、各種データの検索やグラフ表示が可能で、このシステムを活用して使用電力量の削減に努めています。

導入後、温度設定をこまめに変更することにより、本店ビルでは前年度比7.8％削減することができました。

1階玄関設置状況

エネルギー使用量状況画面

● 太陽光発電設備設置を推進

環境に配慮した取り組みの一つとして、太陽光発電設備を新築の事務所の屋上に設置することを推進し再生可能エネルギーを有効活用しています。

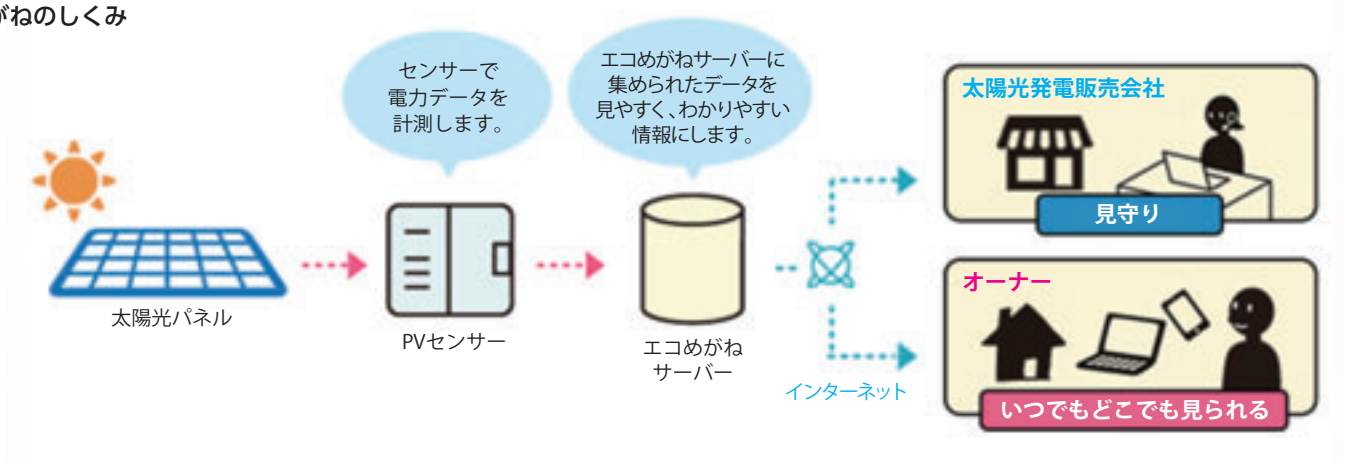
2014年度は、新たに9ヵ所で太陽光発電設備を設置し、総発電量は、205.1kWhになりました。

また、発電状況をパソコンから遠隔監視できるシステム「エコめがね」を導入し、発電量の確認や、万が一の故障・トラブルに早期対応できるよう備えています。

滋賀営業所

広島合材工場

エコめがねのしくみ

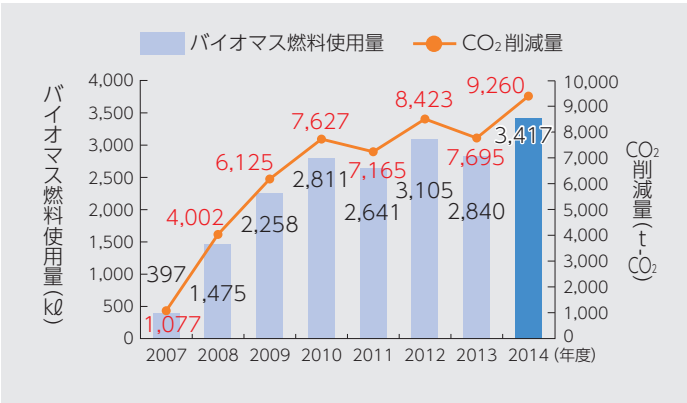


環境に配慮した工法・技術

● バイオマス燃料の活用（木質タール・グリセリン）

バイオマス燃料活用合材工場

● バイオマス燃料の使用状況



2007年度から、アスファルト合材製造で使用する燃料の一部を再生可能エネルギーであるバイオマス燃料（木質タール・グリセリン）に転換しています。

2014年度は、広島合材工場と福岡東合材工場でも取り組みを開始し、全国14工場で3,417kℓのバイオマス燃料を使用しました。その結果、CO_2を9,260t-CO_2削減することができました。

VOICE

技術研究所ではバイオマス燃料に関する新技術の開発を行なっています。

土木技術の知識しかない私が化学の仕事に携わり、当初はわからないことばかりでした。しかし、廃食油から化石燃料の代替のグリセリンが製造されることを知り、この技術はプラント経営に良策で、かつCO_2排出削減に寄与するので、やり甲斐のある仕事だと思いました。

現在はさまざまなグリセリンの製造方法に対応した、燃料の品質向上に関する研究を行っています。

今後もより多くの工場で使い易い燃料の開発に努めていきます。

本店　技術部
技術管理課
松井　弘三

● LEAB（レアブ）

LEABとは、製造時に微細な泡を混入することで、施工温度が低減できるアスファルト合材です。冷めても施工できるため舗装工事における施工不良が発生しにくく安定した品質を提供できるとともに、施工可能時間の延長が図れるため長距離運搬が可能となります。また、製造温度の低減も図れるためCO_2排出量の削減による地球環境改善、夏期の熱中症対策およびアスファルト合材から発生する煙状ガスの低減などの作業環境の改善、早期交通開放による工事渋滞の削減等にも役立ちます。

この技術はこれまで適用が困難とされてきた再生合材や改質合材にも適用できるため、幅広い活用が可能となりました。

LEAB技術は2011年度の川崎合材工場（神奈川県）への導入を皮切りに、現在全国9工場（東京2工場、神奈川3工場、宮城、広島、香川、福岡）で導入しています。

LEABの製造～施工イメージ

専用のフォームド発生装置から、多量の泡が製造されます。

大きい泡は多量の小さい泡とアスファルトを混合させる働きをして、すぐに消えます。

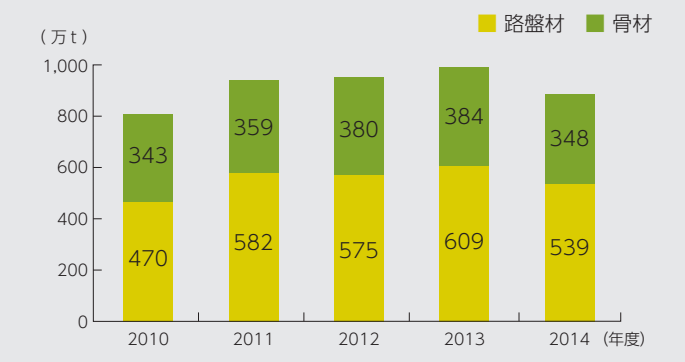
→混合性の向上

マイクロサイズの微細泡は泡同士が結合・肥大化することもなく、長時間に渡り残存します。

アスファルト合材の製造温度や施工温度が下がっても、微細泡の働きによって施工性や混合性は良好な状態を維持できます。
施工後、泡は消えて通常の舗装と同じ性状となります。

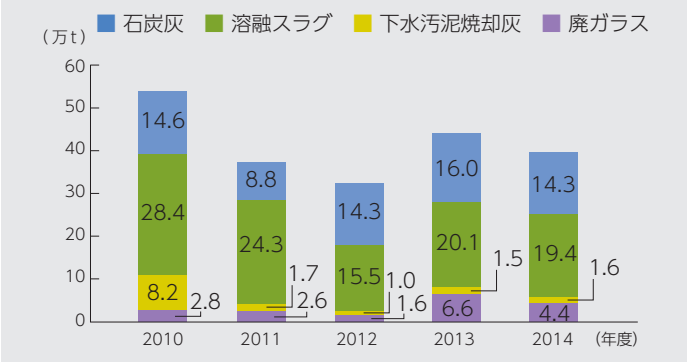
省資源・資源循環の促進

● 建設副産物のリサイクル状況



循環型社会の形成に向け、建設現場で排出される建設副産物のうち、再生資源として有効利用できるアスファルト塊やコンクリート塊などのがれき類を受け入れて、リサイクルしています。それらのがれき類を再生骨材、再生路盤材として製品化し、全国の合材工場で再生アスファルト合材、再生路盤材として製造・販売し、再資源化への取り組みを推進しています。

● 他産業副産物入りアスファルト合材の出荷数量



当社では、アスファルト合材に使用する材料として他産業で発生した副産物について、安全性を確認した上で活用しています。2011年3月に発生した東日本大震災以降、一部地域で下水汚泥焼却灰の受入れができなくなるなど、他産業副産物の受入れが一時的に減少しました。しかし、2013年度には多くの他産業副産物入り合材の出荷量が増加に転じ、2014年度も引き続き震災直後より高い水準を維持しています。

今後も限られた地域資源を有効活用して、循環型社会の構築に貢献していきます。

VOICE

当工場では、2015年3月からLEABの出荷を開始し、各方面から好評をいただいています。また、7月からは全国で初めて『フォームドアスファルト混合物』として事前審査の認定をいただき、更なる拡販の体制が整いました。今後は、この技術の知識を更に深め、より良い品質の合材を出荷すると共にCO_2排出量の削減などの環境対策にも貢献できるよう尽力していきたいと思います。

東北支店
古川合材工場
奥村　晃司

社会との共生を目指して

地域社会とのコミュニケーション

● わくわくふれあいフェスタ開催/下関北バイパス武久地区舗装工事

下関北バイパス武久地区舗装工事は山口県下関市西部の渋滞解消を目的にバイパスを新しく整備するものでした。住宅やマンションが建ち並ぶ地域の工事のため、近隣の方々に少しでも事業に関心を持っていただけるよう「わくわくふれあいフェスタ」と称したイベントを隣接工事関係者および発注者の協力のもと、2014年10月19日に開催しました。

現場を囲うバリケードを使った迷路、工事車両への試乗、落書き大会などのイベントに400人を超える方が参加してくださり、この事業への関心の高さを知ることができました。また「働く車に乗れて楽しかった」、「開通が楽しみ」などのお声をいただき、地域の方々とコミュニケーションをとることができました。

落書き大会の様子

● 工場見学会開催/瑞穂合材工場

2014年10月10日、瑞穂合材工場にて町立瑞穂第一小学校の児童（3年生66名）を招き、見学会を開催しました。

当日は、合材ができあがる仕組みやさまざまな舗装のスライド説明、ダンプトラックへの積込み見学、重機操縦席への体験試乗などを行いました。参加した児童からは「カラーの道路はどこで見られるの?」「工場から出るときの温度は?」などさまざまな質問が飛び交いました。また、「道路がリサイクルされているなんて知らなかった」「道路を作るには苦労があって大変な仕事ということがわかった」などの感想をいただきました。道路が環境に配慮されていることや舗装の仕事について知っていただく良い機会となり、児童の生き生きとした姿が大変印象に残る見学会となりました。

体験試乗する子どもたち

● 埼玉県建設資材県産品フェア2014に出展

2014年8月5日・6日、「埼玉県建設資材県産品フェア2014」に出展しました。当フェアは、建設工事の資材を製造している県内の企業や団体が自社製品や技術の魅力をアピールして、県産品利用を促進するものです。10回目となる今回は、「豊かな暮らしを支える県産品」をテーマとして、38社5団体が製品・技術の紹介やプレゼンテーションを行いました。

当社は昨年度も出展した「マイルドパッチ」に加えて、今年度新たに埼玉県の県産品として登録された段差修正材「スマートパッチ」についても、展示およびプレゼンテーションを行いました。アンケート投票では「ベストブース賞」を2年連続で受賞することができました。

フェアの開催状況

VOICE

2014年度は全国各地で合わせて10件の建設業系技術フェアの出展サポートや、国土交通省関東技術事務所の「建設技術展示館」において高校生や自衛隊施設学校生に常設展示のブース説明を行いました。本年度のフェアは例年に比べて出展者数・来場者数は増加傾向にあり、会場は大変な賑わいをみせていました。その中でも「マイルドパッチ」への関心は高く、「どこで売っていますか？」「本当に水で固まるのですか？」「自宅で個人的にも使えますか？」など積極的な質問をたくさんいただきました。マイルドパッチのサンプルやノベルティも大好評で、多くの来場者に当社製品や技術の魅力をアピールすることができました。

本店
技術部技術課
山本　佳奈子

● 小笠原森林生態系保存活動への寄付/オガサワラシジミ保全活動

2013年度に続き当社とかかわりの深い小笠原諸島の生態系保存事業の支援を行いました。

2014年度は特に、国の天然記念物に指定されている小笠原諸島固有の「オガサワラシジミ」の保全活動に取り組んでいる団体への支援を行いました。

オガサワラシジミとは、貝ではなく蝶です。シジミチョウ科の小笠原固有種で、今では母島にわずかばかり生息する大変希少な蝶です。この団体は、オガサワラシジミの餌木である「オオバシマムラサキ」の育苗活動を行っており、2013年から母島の新夕日ヶ丘や都道の道路脇などに既に100本を超えるオオバシマムラサキの苗を植栽しています。植栽した餌木をオガサワラシジミが利用する姿も確認されており、少しずつですがオガサワラシジミの保全が実りつつあります。

オガサワラシジミ

●「森の町内会　間伐に寄与する紙」の使用による、健全な森づくりへの貢献

当社では、CSR報告書および社内報の印刷に「森の町内会　間伐に寄与する紙」を使用しています。

間伐促進費を付加した 「森の町内会　間伐に寄与する紙」を購入し、印刷用紙に使用することで、間伐促進費の全額が間伐と間伐材の有効活用に役立てられ、健全な森づくりに貢献する仕組みとなっています。

間伐された太陽光が十分に入る森林は、地球温暖化と土砂災害を防止し、生物多様性の保全などにも機能を発揮します。

森の町内会
間伐を進めて森を元気にします。
www.mori-cho.org

間伐された森

● 交通安全活動

福島県の新地町立新地小学校の児童に交通安全に関するイラストと標語をデザインしてもらい、オリジナルの交通安全缶バッジ、キーホルダーを作成して贈呈しました。

贈呈式は、2014年10月2日に同小学校内で行い、各学年の代表者に手渡しました。児童代表の皆さん、同席した校長先生からは感謝の言葉をいただくことができました。

缶バッジはまさに児童たち一人ひとりの思いが形となりました。通学時のランドセルに付けたり、自宅でも一家団欒の話題にして、交通安全に役立てていただければ幸いです。

贈呈式の様子

● 記念植樹を実施

2014年4月12日、北九州に建設した合材工場の新築記念と環境美化を目的に、どんぐりの木を約100本植樹しました。子どもたちは皆スコップを持ち、お母さんたちのアドバイスを受けながら工場内に設けられた緑地スペースに高さ約20cmの苗木を植樹した後、記念となる名入れのプレートを取り付けました。皆、真剣なまなざしで作業に没頭していました。

3年から5年後には、立派などんぐりの木に成長していることと思います。

記念植樹に参加する皆さん

VOICE

2014年8月20日に発生した広島豪雨災害に伴い、中国支店では国・県から要請を受け災害地区の土砂撤去、二次災害防止対応作業を行いました。

広島市に対しては支援物資が全国から送られ整理対応に追われるなか、最も必要な物資の要望をうかがい、ボランティア活動に役立てていただくため土砂運搬用の土嚢袋35,200袋を提供しました。

地域社会の豊かな生活向上に寄与する事は当社の基本理念であり、今後も地域とのコミュニケーションを密にはかりインフラ形成に貢献していきます。

中国支店
営業部
梅村　健

従業員とともに

● 人材育成

社員一人ひとりが業務を通じて能力を発揮し、さらなる成長と人格形成を支援するため、各分野でレベルアップ研修および実務研修を行っています。

	研　修　名	主幹部門	実施人数
レベルアップ研修	新入社員研修	人事部	80
	新入社員フォローアップ研修	人事部	79
	2年生研修	人事部	69
	新任係長研修	人事部	19
	新任管理職研修	人事部	5
実務研修	現場代理人研修	工務部	13
	技術提案作成者研修	工務部	12
	営業所長研修（5年未満・部長候補）	工務部	24
	土木係長前研修	工務部	47
	土木課長・係長研修	工務部	30
	施工指導担当者研修	機械部	9
	合材工場機械担当者研修	機械部	19
	情報化施工研修	機械部	13
	品質管理担当者研修	技術部	27
	工事営業担当者研修	営業本部	13
	統括安全衛生責任者研修（工事・工場）	安全環境品質部	24
	事務3～5年生・係長・係長前研修	経理部	18
	工場長研修	製品部	19
	製品営業担当者研修	製品部	17
合　計			537

新入社員研修

土木係長前研修

新任係長研修

● 健康増進の取り組み

からだの健康管理は、労働安全衛生法に則した定期健康診断（受診率100%）を基本としています。また、健康保険組合の協力により35歳以上の従業員については、生活習慣病検診を行っています。各検診で早期発見と早期治療を目指しています。

心のケアに関しては、全従業員に対し保健師の面談を行っています。

● 高年齢者・障がい者雇用の推進

健康で、働く意欲のある定年退職者に対し満65歳迄の再雇用制度を導入しています。長年培った経験や専門知識を活かし、若年者への技術を伝承する事を目的としています。

また、障がい者の雇用率は2014年6月1日現在で2.05%となり、法定雇用率（2%）を達成しています。

● ワークライフバランスへの対応

ワークライフバランスの実現に向けた取り組みの一つとして、「IDリンクマネージャー」を2014年8月より導入しました。従業員が使用しているパソコンを管理し、就業時間を超えると強制的に電源がシャットダウンするシステムです。

時間外労働や休日出勤の縮減を目的とし、効率的な仕事の進め方を考えて実践するために、働き方の課題を把握・解消するツールとして活用しています。また健康管理・増進も目的としています。

● 多子扶養手当の支給

第3子以降の子どもが生まれた社員に対して、その翌月から高校卒業までの期間、多子扶養手当を毎月支給しています。この制度は2005年4月から実施しています。

VOICE

新任係長研修は2泊3日で行われ、講義では法令やコンプライアンス、経理処理についてなど、役職者として必要な事柄を学ぶことができ、それまで漠然としていた係長としての役割を明確化することができました。

私の業務は、提案営業の資料を作成する事ですが、業務内容が広く知られていないのが悩みの一つでもありました。研修期間中にこれからの時代を担う新係長とさまざまな会話ができたことで、私の業務内容を知ってもらうことができ、また現場の現状を身近に知ることもできました。

今後は、この機会に得た知識と信頼関係を基に、業務内容の充実を図り、拡張させていきたいと思います。

本店　技術営業部
設計デザイン課
渡部　幸子

マネジメントシステムの推進

● 環境マネジメントシステム

9月に審査認証機関からサーベイランス（定期審査）を受け、改善を要する指摘0件、観察事項6件となり、認証が継続されました。観察事項については、自主的に改善を行い、環境パトロール等で確認します。また、取り組み状況について5件の充実点を頂きました。

内部監査においても、適合率（適合数を調査項目数で除した割合）は前年対比3.1％向上する等、環境マネジメントシステムは適切に運用されています。

● 労働安全衛生マネジメントシステム

東北・北関東・東京・中国・九州・四国の6支店において、労働安全衛生マネジメントシステム（OHSAS18001）の認証を取得しており、その他の支店においてもこの規格に準じて労働安全衛生マネジメントシステムを運用しています。

安全の基本である「安全のABC（当たり前のことをバカにしないでちゃんとやる）」の徹底と、作業安全指示書による具体的な指示（リスクアセスメントの充実）を重点目標として安全管理を行っています。具体的には、次の5項目を重点実施事項としています。

1) 社員・作業員の安全衛生教育と資格取得
2) 修理点検時は“スイッチオフ”と“一人作業禁止”
3) 立入禁止措置後の作業開始
4)「作業安全指示書」で行う作業の具体的な指示と危険の喚起
5) 運転時は運転に集中する（運転中の携帯電話の厳禁）

● 品質マネジメントシステム

品質マネジメントシステムは、認証範囲を「舗装および土木構造物の設計および施工」として支店毎に認証を取得しており、認証機関から年1回サーベイランスを受け、認証の継続を認められています。

顧客満足度向上を目指し、以下の取り組みを実施しています。

1）情報シート

現場における苦情等や賞賛されたことがあった場合、「情報シート」に内容を記載して支店に提出します。原因調査・再発防止策を実施し、さらに重要なものは本店に情報が上がり、他のすべての支店に水平展開しています。

2）顧客アンケート

工事完成後にお客様にアンケートの記入をお願いして、その内容について、特に悪い評価があった場合、即座に対応するとともに、アンケート結果を分析して当社の弱い部分の改善に努めています。

現在、合材工場は品質マネジメントシステムの対象となってはおりませんが、上記については自主的に実施しています。

環境サーベイランス

災害への対応

● 避難訓練

2014年11月、本店で静岡沖の地震が発生したと想定し、避難訓練を実施しました。昨年と同様、経済産業省の呼びかけでこの日取りに合わせて行い、95名が参加しました。

大型の地震の場合、ビルから出ることは危険が伴うため、まずはビル内の指定避難場所へ集合し、全員の安否を確認しました。次に、東京消防庁の方に担架の使用方法や消火訓練を指導していただき、その後実際に指定避難場所まで歩いて移動しました。

また、全社員に対し防災対策への意識高揚を目的に、安否確認訓練（安否確認メールの送返信）も併せて行いました。

本店避難訓練の実施

VOICE

北海道支店は、顧客満足度向上のため、情報シートを各社員5件／月の提出、顧客アンケートの回収率50%を目標に実施しています。

情報シートは支店長および各部門長がコメントして水平展開し、さらに毎月の所長会議で重要なものを是正・予防処置として検討しています。お客様アンケートは特にお客様からのご意見・苦情を重視し、内容を分析して会議体・勉強会に活用しています。

受注環境が厳しさを増す中、お客様のご意見を業務に反映させて、「良い仕事・良い対応」の取り組みを充実していきたいと思います。

北海道支店
品質保証課
本間　政弘

全社基本方針

『顧客のニーズに応え、人と環境にやさしい道づくり』

を基本とし、顧客と地域社会に信頼感・安心感・満足感を与える品質を提供する。

● 上記方針を確実にするための優先項目

1. 労働安全衛生活動の推進と、地球環境の保全に努めます。
2. 品質と顧客満足の向上のために、マネジメントシステムを継続的に改善します。
3. 法令・規制、倫理規範を遵守した企業活動により、社会的責任を果たします。

経営の理念

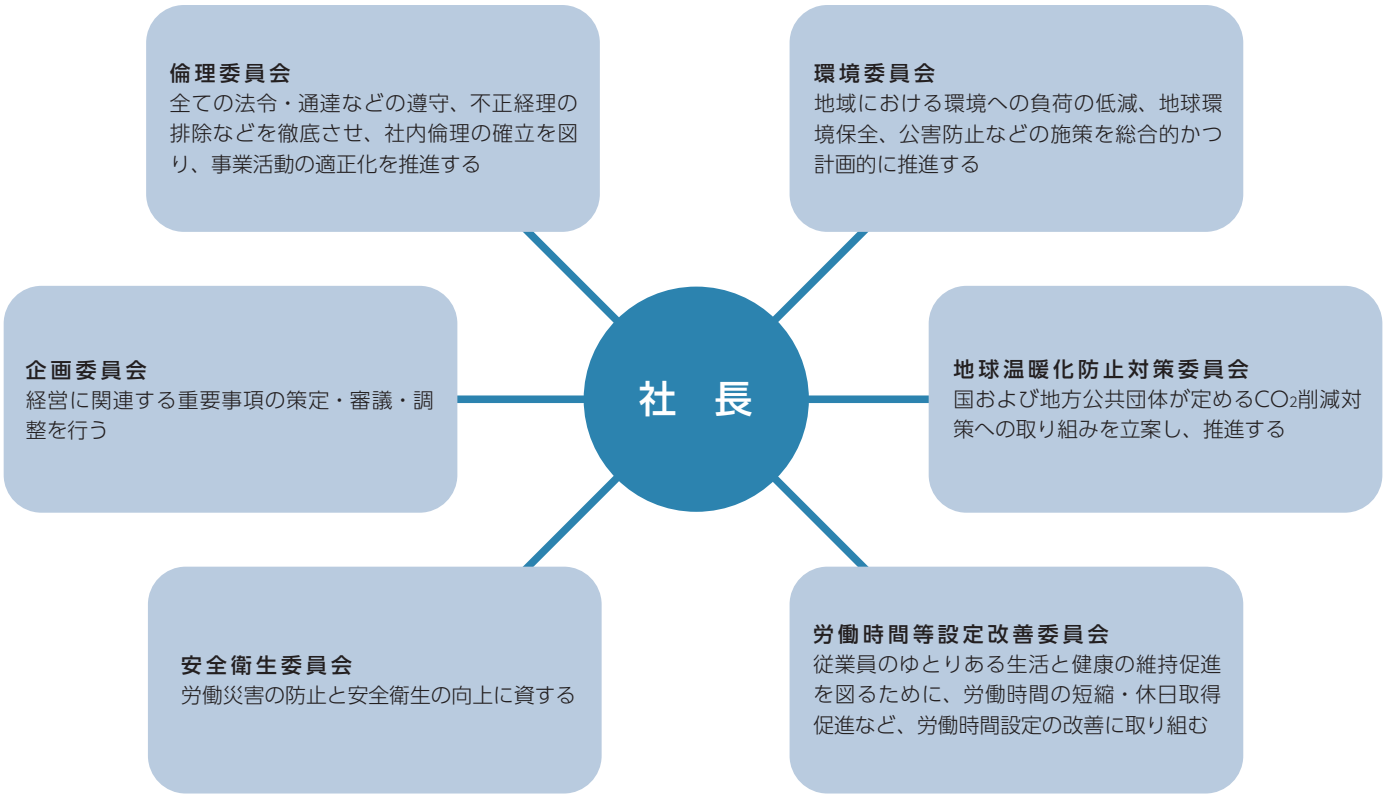
わたしたちはひろく社会資本の整備に貢献し、地域社会の豊かな生活の向上に寄与することを企業活動の使命と自覚する。

信義・誠実の原則のもと誇りと責任をもって、人と環境を大切にした事業活動を推進し安全を第一として、より優れた技術と品質の提供により快適で潤いのある生活空間の創造を目指し、もって豊かな地域社会の発展に貢献する。

● CSR推進体制

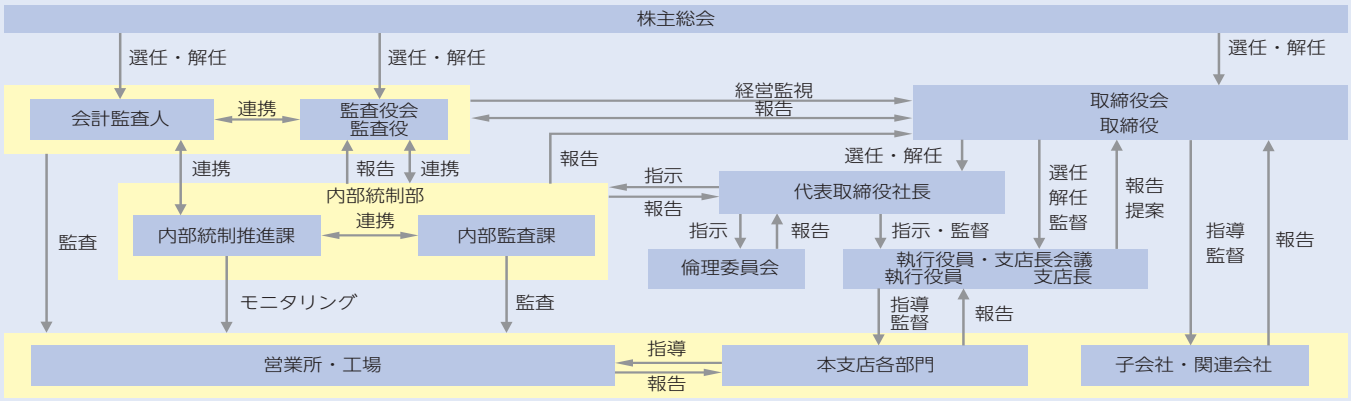
さまざまな視点から下記の各委員会において、CSR活動を推進しています。「遵法」を最優先課題とし、コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底した事業活動を通じ、企業の社会的責任を果たします。また、それぞれのステークホルダーとの繋がりを尊重し、持続可能な企業づくりを目指しています。

※CSR報告書作成グループは、CSRに基づいた事業活動、環境施策、社会貢献活動などについて、各委員会から情報を収集し、全てのステークホルダーに対して、公正で透明な報告書の制作に努めています。



● コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスについて、株主をはじめ取引先、従業員および地域社会を含む全てのステークホルダーの利益を考慮しつつ、継続的に企業価値を高めていく手段であると考え、経営上の最重要課題の一つと位置付けています。



コーポレート・ガバナンス構成図

取締役会

経営の機動性を重視し、取締役の員数を12名以内とすることを定款で定めており､取締役会は現在12名（うち社外取締役１名）で構成されています。取締役会は、月１回開催することとし、必要に応じて臨時に開催しており、法令に定められた事項および当社取締役会規程に定められた事項について決議しています。

執行役員・支店長会議

経営責任を明確にし、経営の意思決定・監督機能の強化を図ると同時に、業務の執行機能を強化するため執行役員制度を採用しています。また、全国に11の支店を設置し、支店長がそれぞれの業務を統括しており、執行役員およびこれら支店長で構成する執行役員・支店長会議を開催しています。取締役会の方針に基づく会社の計画、経営管理の具体的方針等を決定するとともに、取締役会に対し業務の執行状況の報告および業務執行に関する提案を行っています。

監査役会

監査役会は、3名の社外監査役を含む5名で構成されており、法令の定めおよび当社監査役会規程等に従い取締役の職務の執行状況を監査し、経営の監視を行っています。

社外取締役および社外監査役

より透明性の高い企業経営を図るとともに経営監視機能を強化するため、社外取締役1名、社外監査役3名を選任しています。選任にあたっては専門性を重視しており、それぞれ独立した立場から幅広い知識と豊富な経験によって、社外取締役は弁護士として経営に対する助言と監視を行っています。

社外監査役は、弁護士、公認会計士および法律の専門家として当社の監査を行っています。

内部統制部

内部統制部において、内部統制の評価および内部監査を行っています。内部統制推進課は定期的にモニタリングを行い、全社的なリスク管理の状況および内部統制の有効性・効率性の評価を実施しています。また内部監査課は監査計画に基づき会計監査および業務監査を実施しています。2014年度は全11支店･27営業所･18工場の内部監査を行いました。

● コンプライアンス

コンプライアンス体制を構築し事業活動の適正化を推進するため、前田道路倫理綱領を定め倫理委員会を設置しています。倫理綱領は、①経営の理念②行動規範③安全確保・環境改善④法令遵守⑤決算の適正性の確保の５項目から成っています。

コンプライアンス教育

倫理綱領を基に、役員、執行役員および支店長ならびに管理職に対する研修を実施し、また社内集合研修や諸会議の場を通じ全ての従業員を対象に啓蒙活動を行っています。2014年度は社内集合研修などで延べ573名にコンプライアンス教育が行われました。

環境パトロール

廃棄物処理法の遵守を主目的に監視を行い、適切な処理が行われるように努めています。

2014年度は、４支店９工場で環境パトロールを実施しました。

会社概要（２０１５年４月１日 現 在）

● 事業概要

社　　名	前田道路株式会社
本店所在地	東京都品川区大崎１丁目11番３号
設立年月日	1930年（昭和5年）7月19日
資 本 金	193億5,083万円
決 算 期	毎年3月31日
株式上場	東証第一部
従業員数	2,246人
建設業許可	国土交通大臣許可（特－24）第2313号

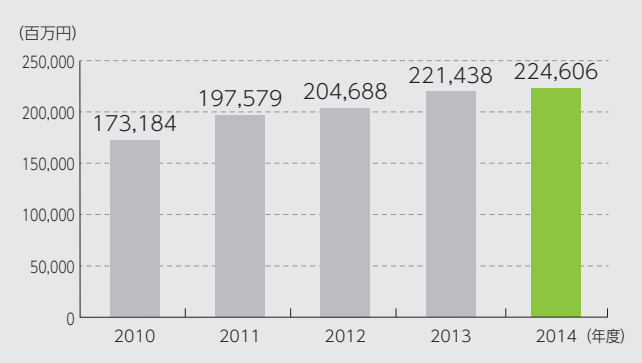
主要な事業内容

1．土木建築工事の請負、設計ならびに監督
2．土木建築工事の諸材料の製作ならびに販売
3．産業廃棄物の処理およびその再生製品の販売ならびに土壌浄化

● 全国の事業所

支　　店	北海道・東北・北関東・東京・西関東・中部・関西・中国・九州・北陸・四国
そ の 他	技術研究所・機械センター
営 業 所	117ヵ所
合材工場	99ヵ所
破砕工場	89ヵ所
乳剤工場	12ヵ所
製品販売所	5ヵ所

● 売上高



● 経常利益

北九州合材工場

第三者意見

環境専門家・Ethical life advisor
株式会社 FEM 代表取締役
山口 真奈美

自然環境と人間の経済・社会システムのバランス構築を目指し活動。
2003年株式会社 FEMを設立、環境・CSR・生物多様性・認証等の研究・評価・教育事業の他、
企業活動やライフスタイルを、よりエシカルに転換することを目指し講演執筆等も手がける。
また、国際的認証機関Control Unionの日本法人として、
環境や社会に配慮した持続可能な国際基準を軸に、多岐にわたる認証にも従事。

どこまでも続く道。そのおかげで私たちは様々な場所へ安心してアクセスすることが出来ます。「人と社会をつなぐ重要な社会基盤である道路を造り、守るという大切な役割」を担い、私たちの暮らしを支える企業の姿が、わかりやすく読み取れる紙面となっています。

まず、特集で女性の活躍について報告されています。男性社会のイメージが強い業界である一方で、社会性、公共性の高い事業は、女性にとって実は共感を得る部分も多々あることでしょう。人生には多くのステージがあり、特に出産後仕事に復帰する上では、様々なバランスを考慮した上で、今後歩んでいく職場を探されると思います。新たな分野で学びながら活躍する社員の方々の声はとても興味深く拝見しました。これらの声からは、求められる専門的な知識などの教育が、男女問わず諸先輩方の理解や支えのもとで的確に行われており、そして何よりも企業理念や業務内容に共感しつつ、共に歩んでいることが伺えます。

さらに、自治体や社外の方々とのコミュニケーションなど、女性だからこそ発揮出来るアプローチの仕方もあります。皆が自分の役割や能力・特徴を活かすことが出来る職場づくりを推進されており、更なる目標や夢に向かって、各地で柔軟且つ真摯に取り組む姿勢が印象的でした。

環境に対しては、CO_2排出量の削減はもとより、太陽光発電、再生可能エネルギーなど以前から積極的に取り組んでいます。また、ハイブリッド油圧ショベル導入の困難さから、アスファルト合材工場における燃焼システムの改善を行動計画として推進されたり、リサイクル資材の有効利用については、廃材の受け入れと再生品の製造量の増加を目指すなど、社会情勢も踏まえて柔軟に対応されています。

一方で、2007年からバイオマス燃料を活用していることから、時代の流行りに左右されず、本業との関係性を踏まえて環境に配慮した活動をされてきたことが伺えます。また、社会にとって必要な改善やCSRを、本業に組み込むことが求められている今、建設副産物のリサイクルなど、循環型社会の構築を視野に入れて、以前より実践されてきたことは大変評価出来ると言えるでしょう。

社会との共生では、事業に関連する働く車の試乗から植樹まで、多岐にわたる活動を地域に密着し連携を図りながら取り組まれており、地域貢献型の企業を実践する姿がありました。より求めるとすれば、その社員や地域の方々から、更なるステークホルダーを改めて確認し、前田道路が掲げるCSRの姿をどのように関係者に浸透していくのかが見えると、より良いかもしれません。

例えば、原材料の調達時から施工の最終段階まで、関係する取引先との関係性や、纏わる環境・社会的リスク、重要視している選択の基準や取り組みを、可視化・定量化も含めて俯瞰されることで、業界や世界で求められている問題の解決に向けて理解が深まり、今後の取り組みが飛躍するのではないでしょうか。

前田道路が創業時から取り組んでいる事業は、その時代の変遷に合わせつつ、人々が安心して暮らすことが出来る社会の基盤を支えてきました。公共性の高い事業を展開しながら地域や環境を大切にし、今後も新たな社会に役立つ事業を展開されることを期待しています。

編集後記

CSR報告書は、3回目の発行となりましたが、今回は「女性の活躍」という特集記事を組みました。この取材に際し、彼女たちは一様に、仕事で壁にぶつかり、悩み、そして試行錯誤しながらその壁を突破していくさまを語ってくれました。そこには、真剣に仕事に取り組む姿勢がありました。当社は、その様な女性たちの活躍に支えられています。当社や道路業界に目を向けてもらうことはCSR報告書の目的のひとつであり、今回の特集記事がそのきっかけとなり、また、イメージアップに繋がれば編集担当者としてとてもうれしいことです。

第三者意見は、株式会社FEM代表取締役　山口様から女性ならではの視点からご寄稿いただきました。「女性の活躍」という特集記事との関連や、環境や社会に配慮したライフスタイルを提案されていることから、誠に時宜を得た方に担当していただいたと感謝しております。最後に、本報告書発行にご協力いただいたすべての皆さまに、心より厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ
前田道路株式会社
総務部
〒141-8665
東京都品川区大崎1丁目11番3号
ＴＥＬ：03-5487-0017
ＦＡＸ：03-5487-0010
ＵＲＬ：http://www.maedaroad.co.jp

【発行】2015年10月（次回発行予定2016年10月）

Kids Painting

For Environment & Safety world

ここでは、当社ならびに関係会社社員の子どもたちが、
環境や安全をテーマとして描いた作品を掲載しています。

前田道路株式会社

MAEDA

本　　店	〒141-8665	東京都品川区大崎1-11-3	Tel.03(5487)0011(代)
技術研究所	〒300-4111	茨城県土浦市大畑208	Tel.029(833)4311
北海道支店	〒060-0042	札幌市中央区大通西10-4-16ダンロップSKビル	Tel.011(777)5555
東北支店	〒980-0802	仙台市青葉区二日町4-11 ウインド・エコパワーMKD9ビル	Tel.022(265)1151
北関東支店	〒330-0854	さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-11ビル	Tel.048(643)3641
東京支店	〒108-8643	東京都港区白金台5-22-12 前田道路白金ビル	Tel.03(3448)2231
西関東支店	〒231-0032	横浜市中区不老町3-12-5 下山関内ビル	Tel.045(662)4121
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5-25-25 MKD名古屋ビル	Tel.052(262)1320
関西支店	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町2-5-30 MKD10大阪ビル	Tel.06(6253)7501
中国支店	〒730-0045	広島市中区鶴見町4-22 MKD1ビル	Tel.082(246)4422
九州支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-14-1 スフィンクスセンター	Tel.092(411)9421
北陸支店	〒950-0916	新潟市中央区米山3-2-11 新潟米山MKD5ビル	Tel.025(241)0460
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15 セントラル第1ビル	Tel.087(862)1780

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

VEGETABLE OIL INK

VOC FREE T&K

この印刷物で使用している本文用紙は、森を元気にするために間伐した木材の有効活用に役立っています。